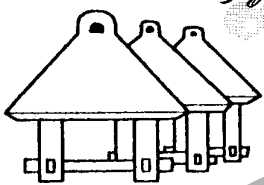


やまと



〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

議会だより

第70号

令和元年6月発行
編集：議会広報委員会
発行：大和村議会
☎ 0997-57-2216(直)
FAX 0997-57-2967



才納壽二氏がマイクロバスと福祉車両を大和村へ寄贈！

先月5月9日に、両親の出身地が大和村の才納壽二氏が、マイクロバスと福祉車両を大和村に寄贈されました。鹿児島市の新港ターミナルにおいて、贈呈セレモニーが行われました。才納氏は、「多くの人が喜んでいる姿に感謝したい。大和村のこともこれからPRしていきたい」と話されました。

主な内容

一般質問（5人）	2～6
平成31年度 当初予算可決	7
平成31年度 当初予算の主な事業費（一般・特別）	8
平成31年度 当予算審査特別委員長報告	8～12
龍郷町にて第6 2回奄美群島市町村議会議員大会を開催！	13
第1回定例会	14～16
議会の動き・編集後記	16

第1回 定例会 一般質問

平成31年第1回定例会(3月)において、5名の議員が※一般質問を行い、砂糖・きび生産発祥地としての取組みについて。まほろばの里入所者について。バス路線について。群倉の増設及び維持管理について。道の駅構想について等に関して質問をしました。なお、質問及び答弁につきましては、全部掲載ではなく一部抜粋掲載していますので、ご理解の方よろしく願います。

※一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたり、事業の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただす質すことです。本村議会の一般質問は、一人持ち時間60分です。

(平成31年3月12日 本会議)

5議員が村政を問う!!

海岸漂着ごみについて

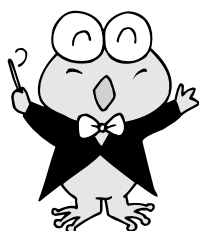
平成が終わり、新しい元号の下、大和村元年ととらえ、奄美沖縄4島の世界自然遺産登録も踏まえ、環境に優しい村づくりを目指すべきではないか。

(答弁) 世界自然遺産登録が実現すれば、本村への観光客の増加が予想される。海岸漂着ごみゼロ



奥田 忠 廣 議員

を目指して、海洋環境の保全を図り、海岸景観の維持だけではなく、観光資源としての側面からも定期的に海岸の巡視を行い、漂着ごみが多い海岸を優先的に行うなど、回収の時期や回数等も考慮し、対策を講じていきたい。



海岸漂着ごみゼロへの抜本策は？

集落での漂着ごみ回収作業の実施。

(答弁) 回収の実施回数を増やし対応したい。また、高齢化により回収作業が困難な集落においては、職員の応援を強化して協力体制を整えていきたい。

集落に海岸漂着ごみ焼却施設の設置。

(答弁) ごみ焼却炉の設置については、地域の実情に合った対策が必要ではないかと考え、当面は従来どおり、海岸ごとに集積場所を決め、村で回収及び分別を行って行きたい。

砂糖、きび生産発祥地としての取り組みについて

大和村は、わが国の「サトウキビ、黒糖生産」の発祥の地であり、直川智翁を祀るひらこみ神社がある。日本糖業発祥地であることを発信することにより、観光と繋げていけないか。

村にあることを紹介し、観光スポットとして情報発信に努めていきたい。

糖業発祥地としての小さな規模でも、昔の製糖方法による黒糖製糖工場建設計画を提言する。

(答弁) 直川智翁を祀った開饒神社については、観光スポットとして、観光パンフレットや観光ガイドブック、巡るぐるぐる大和村、また、大和村役場ホームページなどでも紹介している。昨年11月には、奄美開運酒造と連携して、大和村オリジナルの焼酎「開饒」を完成させ、そのラベルで直川智翁の功績や偉業をたたえる開饒神社が大和

(答弁) 近年の観光産業メニューで、観光客に人気の高い体験型メニューが好まれている。そのような流れから、糖業発祥の地である本村で、昔ながらの黒糖づくりを体験できる施設整備は十分魅力ある観光メニューになることが考えられるので、整備の場所や施設の維持等について十分な検討をしていきたい。

村営住宅の台風対策について

新しい住宅については、台風対策がされているが、古い住宅は雨戸がなく台風時の暴風雨によりガラスが割れる等の損壊がある。その対策として、雨戸の設置はできないか。

(答弁) 住宅に居住する村民の生活環境の充実を図るため、住宅居住者へアンケートを実施しながら雨戸等の設置について、住宅の把握をしていきたい。



民 文 忠 議員

○まほろばの里入所者について

まほろばの里は65才以上の元気なお年寄りが入所しているが、介護が必要になつてくると退所させなければいけないのか。また、引き続きまほろばの里においての介護を受けられるのか。

(答弁) 入所者の方が自宅に戻れない状況も考えられるので、居宅介護サービスなど利用しながら、居住を継続させ、即退所は求めない。また、要介護の状態により、本人や家族の希望により、隣接の大和の園や村外の施設等へ入所の可能性もある。



まほろばの里入所者の今後について



宮 田 到 議員

農業振興について

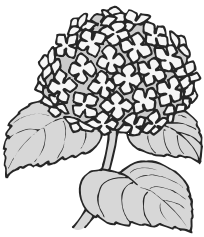
農業振興を推進する中で、肥料等の助成があるが、農業規模にに応じた助成はできないか。

(答弁) 耕作面積を考慮したり、施肥量などを基準にしたりして、限度額を変更する見直し案等を、担当課と協議していきたい。

廃屋の管理について

特殊な廃屋について、行政主導での取り壊しはできないか。

(答弁) 地元の区長と協議を行い、まずは集落から持ち主と連絡を取ってもらい、自主的に取り壊し等を検討していただく方向である。



バス路線について

民間会社への委託については、早い対応が取れて良いと思うが、将来このままの対応では財政的に無理があると思うが、何か対策を考えているのか。

(答弁) 委託運行を継続的に続けていく予定ではない。今後、村民への支障がないような対策を進めていきたい。



バス路線民間委託後の村への影響と対策は？

議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)

行われます。 お問い合わせ先 ☎57-2216(直通)

村当局及び関連部署の内部統制について

役場内各課及び関連部署について、朝礼やミーティング及びローテーションのある部署においては、業務引き継ぎ等が的確に実施され、意思疎通が図られたチームとしての業務の励行がなされているか。現場に園長が不在の状況にある大和の園で、弊害は出ていないか。



議員 蔵 正

（答弁） 今後、専門的指導者を配置しながら、指導を仰ぎ、事故の検証等も含めた形で職員の指導徹底を図っていききたい。また、園長不在について、いろいろな形で、人材確保に努めていききたい。ミーティングについても、いろいろな形でやり方を考え、いかに村民へのサービスに繋がるかを考えていきたい。

群倉の増設及び維持管理について

敷地を買収し、群倉の増設と休憩や販売所としての機能を持たせた観光資源にできないか。

（答弁） 今後、隣接地権者の了解をいただきながら、周辺整備の計画を立てながら、どういう形で群倉を案内していくか検討していきたい。また、観光の面からも、群倉の位置づけをしっかりと確立していきたい。



群倉増設や維持管理の計画は？

屋根の原料の確保から、葺き替えまでの一連の作業に（技術者の下に）地元の道路管理に携わるメンバーに係わってもらうことで、技術の伝承も兼ねた継続した維持管理に繋がらないか。

（答弁） 今後、群倉の作業にあたる技術者の育成を、龍郷町の事業者を招きながらいろいろな形で行って行きたい。



地域おこし協力隊について

本年度の採用・雇用はあるのか。もしあるのであれば、どのような人材配置を考えているのか。

(答弁) 隊員の募集については、国の制度を活用し、人材の確保を行っていききたい。採用する人材については、合同会社「ひらとみ」と連携し、地域の活性化に取り組む人材を求めていく。



前田清和議員

道の駅構想について

施政方針の中に、「道の駅」構想について触れていないが、今後どのように進めていくのか。

(答弁) 庁内の関係課職員や管理職などで検討会



道の駅構想計画の進捗状況は？

など行い、基本構想についてはある程度完成してきている。今後、用地の確保を優先的に行って行きたい。

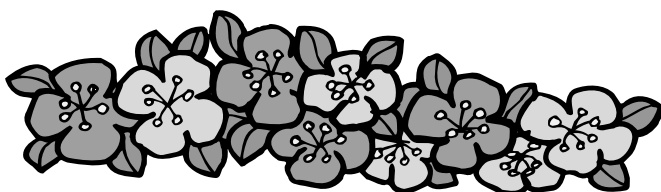
大和村集落まるごと体験事業について

昨年度の成果はどうだったか。

(答弁) 本事業は、国直集落丸ごと体験事業を基礎に村全体の取り組みへと拡大展開していきたい。また、事業内容として、主に観光受け入れ態勢の構築。新たな民泊事業者の掘り起こしや、掘り起こしに伴う体験型観光実施の研修会や民泊事業に向けたセミナーを開催し、観光受け入れの土台づくりを中心を実施しており、新たな民泊事業者が1件新規開業しています。

本年度、どのように進めていくのか。また、本年度中に体験事業として確立できるのか。

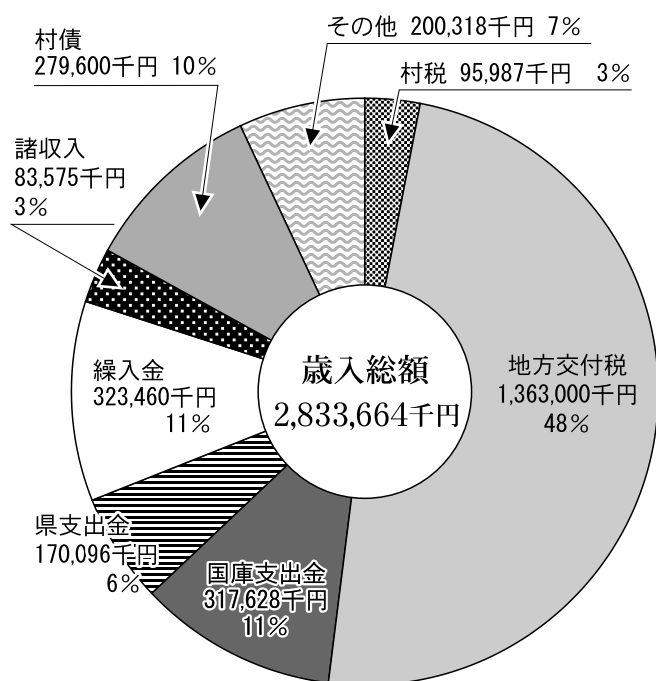
(答弁) 体験型観光事業者と民泊事業者を中心に、大和村まるごと体験協議会(仮称)の設置を予定している。



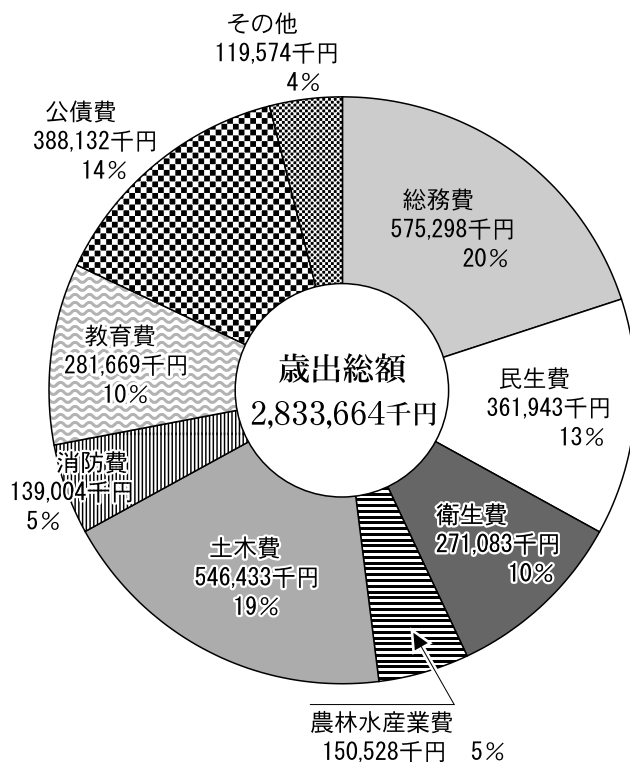
平成31年度 当初予算可決

平成31年度の一般会計及び各特別会計予算は、予算審査特別委員会に付託され、最終本会議で予算審査特別委員長報告（8面に掲載）があり、各会計とも原案可決されました。各会計の当初予算状況は次のとおりです。

平成31年度一般会計当初予算 歳入



平成31年度一般会計当初予算 歳出



【平成31年度各会計当初予算状況】

会 計 名	予 算 額	対前年度対比
一 般 会 計	28億3,366万4千円	2億79万3千円増
簡易水道特別会計	7,146万0千円	477万9千円減
国民健康保険特別会計	2億3,025万3千円	1,051万6千円減
大和診療所特別会計	8,750万5千円	422万3千円増
介護保険特別会計	2億8,168万7千円	1,767万0千円増
集落排水事業特別会計	2億7,376万2千円	185万6千円増
大和の園特別会計	1億5,750万8千円	2,157万6千円減
後期高齢者医療特別会計	3,051万5千円	95万4千円増

平成31年度 当初予算の主な事業費（一般・特別）

- 社会資本整備総合交付金事業費
（大棚名音線改良・橋梁補修事業他） 3億2,915万円
- 村営住宅建設事業費（大和浜地区 木造1棟） 2,700万円
- 空き家改修事業 1,000万円
- 防災関連施設整備事業
（大和浜・大棚・今里 各公民館） 2,010万円
- 東部地区農業集落排水事業費
（管路布設・大和浜地区・湯湾釜地区） 8,217万円
- 中部地区農業集落排水事業費
（管路布設・処理施設建設） 12,149万円

平成31年度 予算審査委員長報告

予算審査特別委員長

重信 安男



去る、3月5日の本会議において、本予算審査特別委員会に付託を受けました。

議案第7号

平成31年度大和村一般会計予算について

議案第8号

平成31年度大和村簡易水道事業特別会計予算について

議案第9号

平成31年度大和村国民健康保険特別会計予算について

議案第10号

平成31年度大和村大和診療所特別会計予算について

議案第11号

平成31年度大和村介護保険特別会計予算について

議案第12号

平成31年度大和村集落排水事業特別会計予算について

議案第13号

平成31年度大和村大和の園特別会計予算について

議案第14号

平成31年度大和村後期高齢者医療特別会計予算について

以上、8件の当初予算案について、審査内容と

結果について報告いたします。

本委員会は、3月7日午前には主な事業箇所の現地調査を行いました。産業振興課から、地域振興事業による水産物加工施設及び毛陣地区の実証農園の説明を受け、教育委員会からは、群倉の説明を受けました。また、企画観光課と産業振興課からは磯平パークについて、総務課から空き家改修事業についての説明を受けました。また書類関係の審査としまして、3月14日と15日の2日間に渡り、村長、副村長、教育長及び関係担当職員の出席を求め、一般会計及び各特別会計の予算案の審査を行いました。

一般会計予算の審査については、14日終日と15

日の午後にかけて行いました。

一般会計予算の審査は、村長の施政方針にある7項目の基本方針を軸に質疑を行いました。

審査の結果について申し上げます。

まず、「大和村集落ま

るごと体験事業」について、国直集落のNPO法人TAMASUと定期的に協議を行っているのか、また、どのような仕組み・運営であるのかという質疑に対して、必要がある



予算審査特別委員会（一般会計）

場合、その都度協議を行い、「大和村まるごと体験協議会」においてTAMASUを成功事例に、宿泊事業者や民泊事業者の受け入れ体制構築のため、研修会等を行っているとの答弁がありました。

また、観光客に優しい、集落案内板の設置に併せて、外国人観光客のニーズに対応するため、案内板の多言語は行わないのかとの意見や、商店にパンフレット等を設置して、観光案内所的機能や商店



予算審査特別委員会（一般会計）

の活性化を行ったらどうか。という質疑に対し、案内板の多言語化や商店の観光案内所的機能等について検討していきたいとの答弁がありました。

次に、近年の異常気象により、豪雨災害などが頻繁に起こっているが、住民が安心して生活や避難できるように、危険区域について、防災マップ等により住民への周知徹底が出来ないのか。との質疑に対し、関係機関と連携して、住民への説明会や、最新の防災マップを提供し周知徹底をしていきたい。との答弁がありました。

次に、本村においても、出産が増えており、0才児保育が重要となってきましたが、今後の体制や待機児童解消策はどうか。



観光ルートの一環として群倉の早期整備計画を！

との質疑に対し、待機児童を解消できるように、園児の増加にも対応出来るよう場所の移転も含め、検討会等を行い、早急に体制作りを行いたいとの答弁がありました。

次に、村内の各商店は

商工会へ毎月負担金を出しているの、商店活性化のためにも、商工会が商店へ対して、指導や研修会等を行っていたかどうか。という提言できないか。との質疑に対し、本村も商工会と連携を行って対策

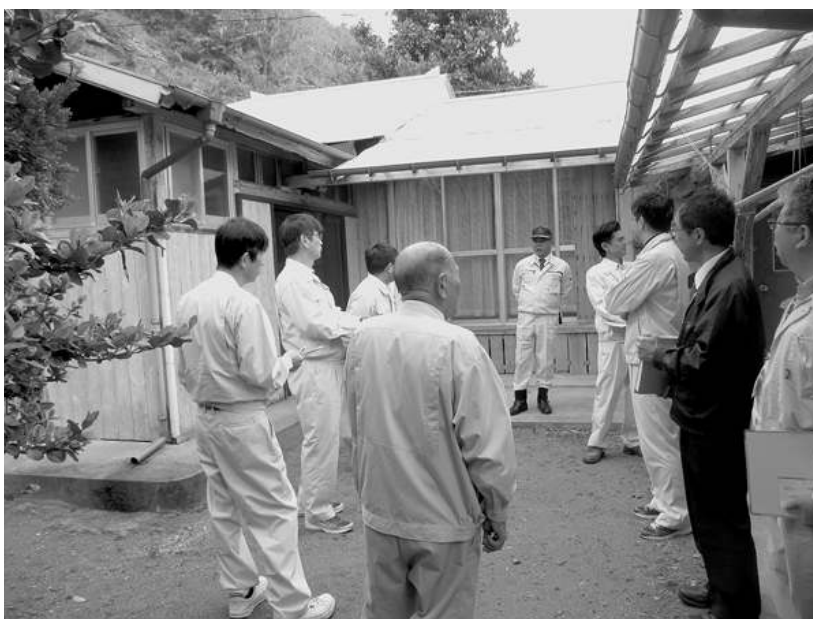
を講じていきたいとの答弁がありました。

次に、世界自然遺産登録後の観光客の増加が予想され、民宿や民泊の重要性が増してくると思うが、支援等を含め、今後どのような助成を行えるのか。また、意見交換会を行っていくのか。との質疑に対し、まるごと体験協議会の中で意見交換会を行い、要望に応じていきたいとの答弁がありました。

次に、本村の公営住宅の家賃は高い設定で、住みたくても住めない状況である。また、公営住宅から他の住宅へ移動するための解消策はあるのか。という質疑に対し、今後、公営住宅ではなく、定住促進住宅と空き家改修により各集落の住宅不足の

解消に対応していきたいとの答弁がありました。

次に、まほろば館と生産者との連携がスムーズに行われていない、スタッフの賃金アップや報償等により、モチベーション向上が図られ、生産者へ



空き家改修事業を活用し本村の人口増加を図る

のサービス向上にも繋がっていくと考えられるが、どのような対策があるのか。との質疑に対し、今後、スタッフに対し、成果に応じた対応策を図っていきたい。との答弁がありました。

次に、現在は耕作が行われている農地で、今後、高齢化や後継者不足などにより、耕作放棄地化してしまう農地について、どのような対応を考えているのか。との意見に対し、中間管理事業を活用

し、推進委員や農業委員と連携を図り対応していきたいとの答弁がありました。

一般会計審査同日15日午後、一般会計審査後、討論・採決を行い、全会一致で原案のとおり可決



実証農園をいかに有効活用し農業を活性化させていくか

されました。その後、各特別会計予算についての審査を一括で行いました。

簡易水道事業特別会計について、大和ダムの水質改善及び飲料水としていつから供給できるのか。との質疑に対し、水質改善はまだされていない。

今後、水質改善を早急に行い、ダム稼働が出来るようにしていきたいとの答弁がありました。

集落排水事業特別会計について、各世帯の加入率を上げるためにも、各集落での住民説明会を行うなどして、周知徹底を行ってほしいとの質疑に対し、戸別訪問等により周知を行っていききたいとの答弁がありました。

大和の園特別会計について、大和の園のスタッフや大和の園と大和診療



予算審査特別委員会（特別会計）

所、行政職員とスタッフでの確な連携が取れてなく、改善策が必要と思うが、今後どのように行っていくのか。との質疑に対し、スタッフとより密に連携を図り、また、専門家による研修会を行い、

事故が起こらないような体制作りに努めていきたいとの答弁がありました。以上、各特別会計予算の質疑終了後、一括して討論を行い、各会計の採決を行いました。

その結果、いずれの特

別会計においても討論はなく、採決の結果、全特別会計、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上のとおり、予算審査特別委員会に付託を受

けました、平成31年度大
和村一般会計予算1件、
各特別会計7件の予算に
ついて、原案のとおり可
決すべきものと決定いた
しましたので、ここに報
告いたします。

最後に、当委員会では、
委員長の予算審査報告と



予算審査特別委員会（特別会計）

併せて、議会の意見書を
後日取りまとめて提出い
たしますので、速やかに
対処していただきますよ
う申し上げ、平成31年度
予算審査特別委員会にお
ける委員長報告を終わ
ります。



漁業振興への足がかりとなる水産物加工施設



本村でのさとうきび発祥をいかに知らせていくか！

龍郷町にて第62回奄美群島市町村議会議員大会を開催！

先月、5月15日(水)に龍郷町の体育・文化センターりゅうゆう館において、第62回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。大会では、禧久伸一郎県議、向井俊夫県議、永井章義県議、壽肇県議、福司山宣介県議の5名が県政報告を行いました。また、大和村・宇検村・瀬戸内町3町村の提出議題の「国道58号線（奄美市住用町役勝～網野子トンネル起点間、勝浦～阿木名間）の改良促進について」が提出されました。研修会では、「町田酒造株式会社代表取締役社長 中村安久 氏」の講演がありました。中村氏は、鹿児島銀行を退職後、平成28年4月から現在の役職につき、「働き方改革」のエピソードを話されました。

その中で、「働き方改革を行うことで、有能な人材や新たな雇用を生み、奄美の地方創生に結びつけば」とも話されました。

また、自治功労表彰があり、大崎一也議会事務局長が、5年以上事務局在籍の表彰を受けられました。



福地元一郎大島郡町村議会議長会会長によるあいさつ



町田酒造代表取締役中村氏による講演会



各地区から地域の実情に合った議題が提出されました

第1回定例会

平成31年第1回（3月）定例会が3月5日～19日（15日間）まで開かれ、平成30年度補正予算をはじめ、条例改正や制定及び、平成31年度当初予算などが審査されました。

なお、可決された議案（全議案可決）は、次のとおりです。

予 算

●平成30年度 一般会計補正予算（第6号補正）

補正額 746万1千円 増額
 予算総額 30億734万7千円

（補正内容）歳入においては、地方交付税や奄美群島成長戦略交付金等が賀増額されました。歳出においては、財政調整基金積立、奄美フォレストポリス再整備事業及び学校施設空調工事の増額計上しました。
 主な補正は次の通りとなっています。

（歳入）
 ○地方交付税 146万1千円増

○国庫補助金（公営住宅修繕事業） 441万6千円減

○県補助金（奄美群島成長戦略交付金） 3000万円増

○村 債 3000万円増

（歳出）
 ○総務費（財政調整基金）

5300万円増
 ○衛生費（集落排水事業操出金） 1440万円減

○土木費（奄美フォレストポリス再整備事業） 6000万円増

○教育費（学校施設空調工事） 1450万円増

●平成30年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号補正）

補正額 5万円 減額

予算総額 2億576万9千円

（補正内容）歳入においては、保険給付費補助金の減額、歳出においては、療養給付費及び高額療養費の増額、また退職被保険者療養費の減額をしました。

●平成30年度 大和診療所特別会計補正予算（第4号補正）

補正額 115万円 減額

予算総額 8850万8千円

（補正内容）歳入においては、診療報酬の増額、繰入金の減額計上、歳出においては、時間外勤務手当及び歯科診療報酬費の減額また、修繕費を増額しました。

●平成30年度 介護保険特別会計補正予算（第2号補正）

補正額 139万3千円 増額
 予算総額 2億881万8千2千円

（補正内容）歳入においては、国・県負担金における介護給付費や支払基金交付金の増額、歳出においては、システム改修負担金や保険給付費の増額また、奄美大島地区介護保険一部事務組合負担金の減額計上しました。

●平成30年度 集落排水事業特別会計補正予算（第4号補正）

補正額 1440万円 減額

予算総額 2億893万5千円

（補正内容）歳入においては、一般会計からの繰入金、歳出においては、西部地区、東部地区集落排水事業確定に伴い減額計上しました。施設の整備計画策定による増額です。

●平成30年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号補正）

補正額 159万2千円 増額
 予算総額 3138万円

（補正内容）歳入においては、保険料の増額、歳出においては、後期高齢者医療広域連合給付費を増額しました。

条 例

●大和村消防団条例の一部改正

（改正内容）
 この条例は、消防団員の年額報酬や費用弁償を増額するための改正です。

●大和村職員の勤務時間、
休暇等に関する条例の一
部改正

(改正内容)

この条例は、国の働き
方改革を推進するための
関係法律の施行に伴い、
超過勤務を命ずる時間及
び月数の上限の設定等が
決められた改正です。

●大和村定住促進住宅の
設置及び管理に関する条
例の一部改正

(改正内容)

この条例は、名音地区
に定住促進住宅建設及び
戸円地区の住宅の借り上
げに伴い、新たに定住促
進住宅の名称及び位置並
びに月額家賃を設定す
るための改正です。

●大和村企業誘致立地等
促進条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、定住の促
進、雇用の創出を図るた
め、有地企業の幅を広げ
飲料、化学工業、宿泊業、
飲食サービス業を追加し、
有地企業が投資分を回収
する意欲向上のため半額

の助成を行うための改正
です。

●大和村地域活性化定住
促進条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、大和村出
身の若い世代の定住促進
を図るため、大和村振興
基金の条例施行規則で定
める、奨学資金及び入学
準備金の返還助成を新設
しようとするものです。

●大和村水産物加工施設
の設置及び管理に関する
条例制定

(改正内容)

この条例は、施設の完
成に伴い条例を制定する
もので、施設の休館日、
利用時間、使用許可、使
用料、使用料の減免等を
定めた他、将来的には指
定管理者制度も導入でき
るよう、指定管理者に関
する事項や利用料金制度
についても盛り込んだ制
度です。

●大和村観光公園施設等
の設置及び管理に関する
条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、大金久ふ
れあいパーク他4公園を
条例に追加、指定管理者
が施設の使用に係る料金
を収入として授受できる
制度の制定また、グラウ
ンドゴルフ場やキャンプ
場の利用料の改正を行
いました。

●大和村放課後児童健全
育成事業の設置及び運営
に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、学校教育
法の規定による資格を教
育職員免許法に改めるも
のです。

●大和村ひとり親家庭医
療費助成条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、所得税法
の改正に伴い、「控除対
象配偶者」が「同一生計
配偶者」に改正するもの
です。

そ
の
他

●熊本防衛支局関係の旧
慣による公有財産の使用
の変更について

(内 容)

熊本防衛支局が現在通
信施設用地として使用許
可を得ている敷地につい
て、自然環境への配慮か
ら必要最小限での利用活
用に伴い利用面積の変更
を行うものです。

●沖縄総合事務局関係の
旧慣による公有財産の使
用の変更について

(内 容)

沖縄総合事務局が現在
中継局敷地及び進入路と
して使用許可を得ている
敷地について、利用面積
の変更を行うものです。

●大和村辺地に係る総合
整備計画の変更について

辺地に係る総合整備計
画は、平成30年度～平成
34年度までの5年間で策
定しており、今回の変更
は、交通安全道路整備事
業、大棚1号線他10路線
を新たに計画に追加しま

た、事業費の調整を行う
ものです。

●大和村過疎地域自立促
進計画の変更について

(内 容)

平成28年3月定例会で
策定。今回の変更は産業
の振興に観光関連施設整
備を追加。交通通信体系
の整備、情報化及び地域
間交流の促進に交通安全
道路整備事業を追加。集
落の整備で空き家改修事
業、定住促進住宅の整備
戸数の追加及び住宅改修
助成金を追加するもので
す。

同 意

●大和村教育委員会委員
の任命について

大和村教育委員の任期
満了に伴い、次の方が再
度選任されました。
任期は平成31年4月1
日から4年間です。

住 所	氏 名
大和村大金久	徳 裕子 氏

●大和村選挙管理委員会 委員の当選者について

大和村選挙管理委員の任期満了に伴い、次の方が当選されました。
任期は平成31年4月1日から4年間です。

住 所 大和村今里
氏 名 787番地2
森 忠夫 氏

住 所 大和村大金久
氏 名 33番地
元山 満雄 氏

住 所 大和村大和浜
氏 名 86番地2
大江 寿子 氏

住 所 大和村津名久
氏 名 65番地9
中山 一 氏

大和村選挙管理委員会補 充員の当選者

永野 誠光 氏 (思勝)
元 継男 氏 (湯湾釜)
元 吉八郎 氏 (大金久)
坂元 龍馬 氏 (戸円)

議会の動き

平成31年
【1月】

4日 大和村成人式（防災センター・議員）
6日 大和村消防出初め式（大和校・議員）
9日 大島本島南部議会連絡会（奄美市・議長・副議長）
13日 正副議長研修会（奄美市・議長・副議長）
15日 県体相撲競技総合二十連覇祝賀会（奄美市・議長）
16日 公明党奄美ティダ委員会・新春政経懇話会（奄美市・議長）
27日 議会と語る会（大棚・議員）
29日 第17回まほろばウォーキング大会（フォレストポリス・議員）
31日 議員研修会（鹿児島市・議員）
議会と語る会（大和浜・議員）

【2月】

5日 所管事務調査（沖縄県伊平屋村・議員）～8日まで
12日 第37回南部町村議会議員大会（瀬戸内町・議員）
15日 大和村地域交通対策会議（第一会議室・議員）
21日 県町村議会議長会定期総会（奄美市・議長）
22日 県離島離島振興町村議会議長会定期総会（奄美市・議長）
24日 議会運営委員会（議員控室・運営委員）
26日 公民館講座閉講式（防災センター・議長）
27日 大島地区衛生組合議会定例会（奄美市・奥田議員）
大島地区消防組合議会定例会（奄美市・前田議員）
大島地区介護保険一部事務組合定例会（奄美市・重信議員）
大島農業共済事務組合定例会（奄美市・蔵議員）
市町村議会議長会（奄美市・議長）
市町村長・議会議長合同会（奄美市・議長）
奄美群島広域事務組合議会定例会（奄美市・議長）

【3月】

5日 大和村議会第1回定例会開会
7日 予算審査特別委員会現地調査
12日 定例会（一般質問一部夜間 5名）
13日 大和中学校卒業式（議員）
14日 予算審査特別委員会（一般会計）
15日 予算審査特別委員会（一般会計・特別会計）
19日 定例会最終本会議
22日 村内小学校卒業式（議員）

編集後記

5月1日から令和が始まりました。皆様にとりましても、令和という新元号が、心機一転、新たな気持ちで何か新しいことに取り組むきっかけになれたことと思います。

さて、本村におきましても、先月、水産物加工施設の落成式がありました。この水産物加工施設が効果的に稼働することにより、本村の水産業が発展していくきっかけになることを信じていると思います。

今後「果樹の村大和村」のみならず、「漁業の村大和村」を唱えられるような本村の漁業発展を願いたいものです。

現在、奄美大島は梅雨本番の時期です。皆様におかれましても、常日頃から、大雨や台風などの災害に対する万全な備えを行い、快適な生活を送っていただきたいと思います。

我々大和村議会も、村民の皆様のご貴重なご意見を、市政に反映できるよう日々努力を行っていききたいと思います。どんな小さな事でも結構ですので、是非皆様の声をお聴かせ下さい。

広報委員長 民 文忠
広報委員 重信 安男

〃 〃 宮田 到
〃 〃 池田 幸一